

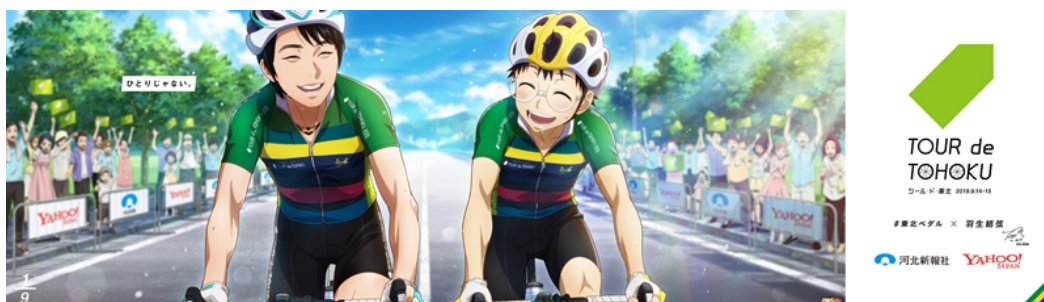
ツール・ド・東北 フレンズの羽生結弦選手がイラストとして登場！！「ツール・ド・東北 2019」の実際のコースを羽生結弦選手と「弱虫ペダル」のキャラクターが走行するスペシャルグラフィックを東京メトロ新宿駅・渋谷駅、地下鉄仙台駅にて8月26日より順次掲出！

グラフィックは全部で9種類！（駅掲出8種類、WEBサイト限定1種類）

羽生結弦選手は「小野田くんたちと、僕と、応援してくださる皆さんで、ツール・ド・東北に力を！」とコメント

ヤフー株式会社は、サイクリングイベント「ツール・ド・東北 2019」の開催にあたり、共同で主催する株式会社河北新報社の協力のもと、フィギュアスケーターの羽生結弦選手や自転車競技を題材とした大人気アニメ「弱虫ペダル」のキャラクター15人が「ツール・ド・東北 2019」の実際のコースに登場するスペシャルグラフィックを、東京メトロ丸ノ内線新宿駅および東京メトロ半蔵門線渋谷駅、仙台市地下鉄仙台駅にて、2019年8月26日（月）から順次掲出します。昨年に引き続いて「ツール・ド・東北」とコラボレーションする「弱虫ペダル」のグラフィックに、今年はツール・ド・東北フレンズ（※）として大会を応援いただいていた羽生結弦選手がアニメイラストとなって登場します。

※：「ツール・ド・東北」では、大会の目的に賛同し、ご参加いただける著名人の方々に「ツール・ド・東北 フレンズ」として任命し、東北の復興を応援していくためのさまざまな役割を担っていただいています。



スペシャルグラフィックは、「ツール・ド・東北 2019」の実際のコースを舞台にしたリアルで美しい自然などを背景に、羽生結弦選手と主人公の小野田坂道をはじめとした「弱虫ペダル」のキャラクター※が、ポール・スミスデザイン「ツール・ド・東北 2019」オフィシャル・サイクルジャージを着用して、自転車で走行する姿や休憩する姿などを描いたものです。スペシャルグラフィック計9種類のうち5種類に羽生結弦選手が登場、6種類は「ツール・ド・東北 2019」の実際のコースを背景とし、舞台となった地名が記載されています。羽生結弦選手や「弱虫ペダ

ル」の登場人物の姿とあわせて、東北の現状や魅力を感じていただけるデザインとなっています。

※登場するキャラクターは、小野田坂道、巻島裕介、今泉俊輔、鳴子章吉、真波山岳、御堂筋翔、手嶋純太、青八木一、錦木一差、東堂尽八、葦木場拓斗、泉田塔一郎、黒田雪成、銅橋正清、新開悠人の15人です。

■掲出期間・場所：

第一弾：2019年8月26日（月）から9月1日（日）まで

東京メトロ丸ノ内線新宿駅メトロプロムナード（全4種類、うち羽生結弦選手登場2種類）

第二弾：2019年9月2日（月）から9月8日（日）まで

東京メトロ丸ノ内線新宿駅メトロプロムナード（全4種類、うち羽生結弦選手登場3種類）

第三弾：2019年9月9日（月）から9月15日（日）まで

東京メトロ丸ノ内線新宿駅メトロプロムナード（第一弾、第二弾の全8種類、うち羽生結弦選手登場5種類）

東京メトロ半蔵門線渋谷駅（第一弾、第二弾より5種類、うち羽生結弦選手登場4種類）

※2019年9月11日（水）から9月17日（火）まで

仙台市地下鉄仙台駅（第一弾より1種類、うち羽生結弦選手登場1種類）

※2019年9月9日（月）より「ツール・ド・東北特設サイト」にてWEB限定グラフィックを公開（1種類）

駅・係員へのお問い合わせはご遠慮ください。

■[特設サイト](#)

■本企画のSNS用ハッシュタグ：「#東北ペダル」

■羽生結弦選手（ツール・ド・東北 フレンズ）からのコメント

ツール・ド・東北フレンズとして応援している、ツール・ド・東北のポスターに、「弱虫ペダル」の世界のみんなと一緒に、初めて登場させていただくことになりました。「弱虫ペダル」は大好きな作品で、前へ踏み出す強さ、一つのゴールへ向かっていく力の大きさ、をいつも感じています。限界を超えていく方々と、東北の皆さんを小野田くんや御堂筋くんたちと応援できることが、とてもうれしく、幸せです！ライダーの方々の"力"を感じ、応援することで、一つになって、"東北の力"になる。そんなツール・ド・東北を応援しています！東北に大きな力が集まるように。

小野田くんたちと、僕と、応援してくださる皆さんで、ツール・ド・東北に力を！



ワールド・東北フレンズとして応援している、ワールド・東北のポスターに、
「弱虫ペダル」の世界のみんなと一緒に、初めて登場させて
いただくことになりました。

「弱虫ペダル」は大好きな作品で、
前へ踏み出す強さ、
一つのゴールに向かっていく力の大きさ、
をいつも感じています。

限界を超えていく方々と、東北の皆さんを
小野田くんや御堂筋くんたちと応援できることが、
とてもうれしく、幸せです！

ライダーの石の“力”を感じ、応援することで、
一つになって、“東北の力”になる。
そんなワールド・東北を応援しています！
東北に大きな力が集まるように。
小野田くんたちと、僕と、応援してくださる皆さんで、

ワールド・東北に力を！

■「弱虫ペダル」原作者 渡辺航先生からのコメント

今年も「ツール・ド・東北 2019」開催おめでとうございます。

石巻「石ノ森萬画館」での原画展示、イラストで「弱虫ペダル」は今年も応援しています。

フィギュアスケートの羽生選手とのコラボもありますので盛り上がること必至ですね！

震災のあった年から毎年チャリティーサコッシュを製作し、売り上げをすべて寄付してきました。

東北の復興が少しでも進むことを願っています。

皆さんも是非、自転車で町や自然、空気、人々の温かさを肌で感じて下さい！



■スペシャルグラフィックの舞台となった場所を公開

9種類のグラフィックのうち6種類は、「ツール・ド・東北 2019」の実際のコースを背景としています。背景となった舞台は「仙台市」「石巻市」「気仙沼市」「東松島市」「女川町」「南三陸町」で、その場所を記載したマップを特設サイト上で9月上旬より公開します。マップを参考に、羽生結弦選手や弱虫ペダルのキャラクターたちが描かれた場所の見学や撮影にご活用いただけます。

■ツール・ド・東北について

株式会社河北新報社とヤフー株式会社は、東日本大震災の復興支援および震災の記憶を未来に残していくことを目的としたサイクリングイベント「ツール・ド・東北」を、2013年より毎年開催しています。第7回となる本大会は、来年以降の大会における東北三県への走行エリア拡大に向け、福島県南相馬市発および宮城県亘理町発の2コースを大会関係者が走行する視察ライドを初日の14日（土）に実施します。一般ライダーの走行は、宮城県仙台市沿岸を通る東部復興道路を秋の開通に先駆けて特別に走行できる「仙台発奥松島グループライド」など計6コースを、2日目の15日（日）に集約して実施します。

・ [公式サイト](#)

■羽生結弦選手について

1994年仙台市生まれ。4歳でフィギュアスケートを始め、2010年の世界ジュニア選手権で優

勝。2014年のソチ五輪で日本男子初の金メダルを獲得。同年12月のGPファイナルでも日本人初の連覇。2017年世界選手権で2度目の優勝。2018年平昌五輪でも金メダル獲得し、66年ぶりの連覇を記録した。同年、歴代最年少で国民栄誉賞を受賞。宮城・東北高卒。ANA所属。2015年より「ツール・ド・東北 フレンズ」として大会を応援している。

■「弱虫ペダル」について

2008年に秋田書店「週刊少年チャンピオン」に初掲載されて以来、現在も大人気連載中。

ロードレースという自転車競技を題材にし、男女問わず多くの人から支持され、コミックス累計2500万部を超える今最も熱いスポーツ少年漫画です。2013年にTVアニメ化され、これまでに第4シーズンにわたって放送。2015年にはオリジナル長編アニメが公開され大ヒットを記録しました。